

# 総合計画策定の概要

## かすや 未来づくり プロジェクト

第5次  
総合計画  
策定中  
2014-2015

KASUYA TOWN 5TH MASTER PLAN



粕屋町経営政策課

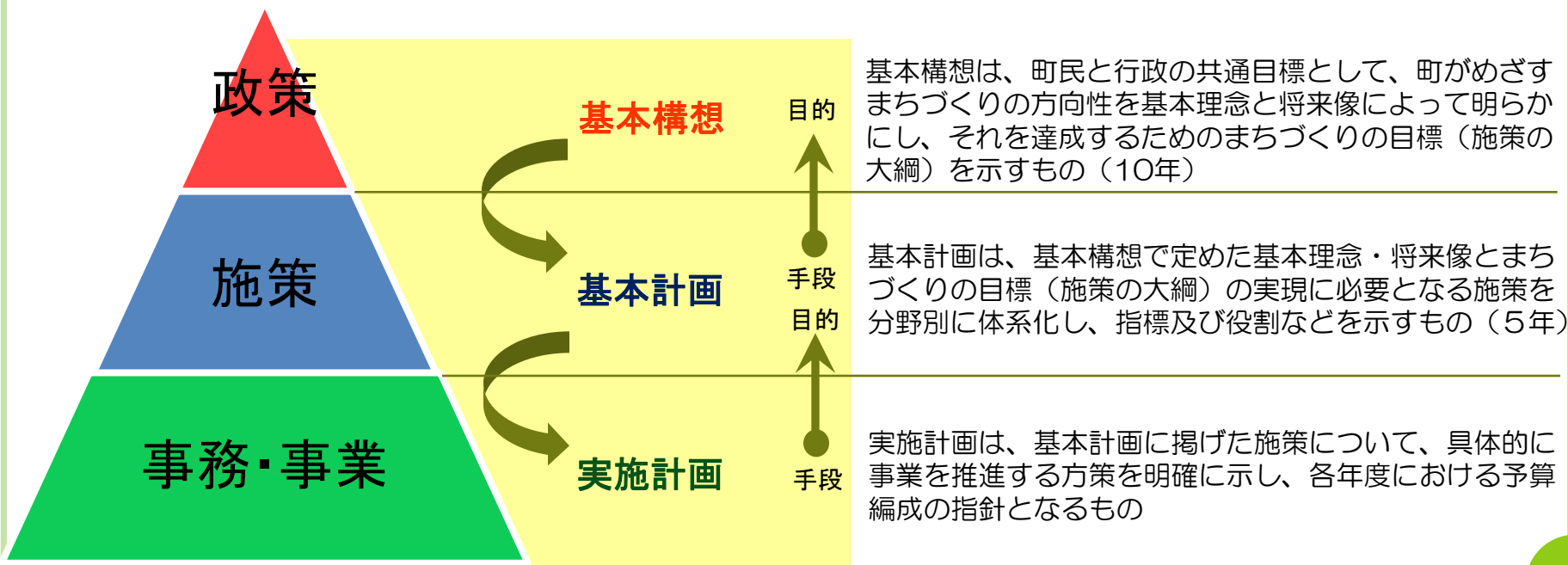
平成27年1月

# 総合計画とは

町民にまちづくりの長期的な展望を示し、  
行政運営の指針となるもの



すべての行政計画の**最上位計画**



# 粕屋町の現行総合計画

計画期間 平成18年度～平成27年度（10年間）

## 第4次総合計画

まちづくりの基本理念  
(粕屋町のまちづくりのあり方)

「太陽と緑の町」

都市と自然が調和し、  
誇りと愛着を持って暮らせる

「信頼と協働の町」

町民と行政がお互いに信頼し、  
みんなで実践する

粕屋町の将来像  
(粕屋町のめざすまちの姿)

みんなで創ろう  
ゆとり いきいき ふれあい かすや

ゆとり

都市と自然のバランス  
のとれたゆとり  
あるまち

いきいき

お互いを大切に誰もが  
生きがいを持って  
暮らせるまち

ふれあい

人づくり・人のつながり  
によりふれ合いの  
あるまち

みんなで創る

みんなの知恵や経験を生かしたまちづくりを進めます

基本構想

H18～H27  
(10年)

基本計画

前期H18～H22(5年)  
後期H23～H27(5年)

実施計画

(毎年度)

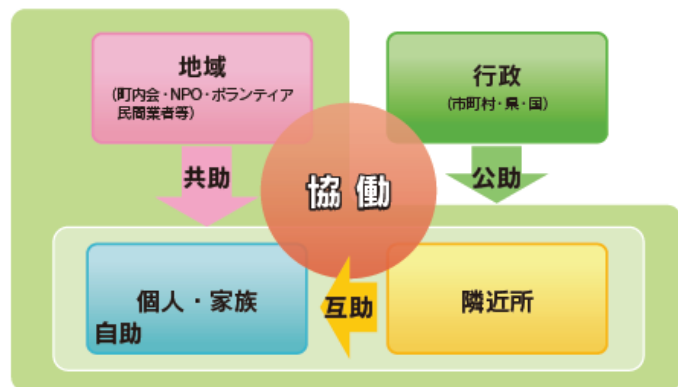
# 粕屋町の現行総合計画（第4次総合計画）

地域主権戦略大綱（平成22年6月閣議決定）

- 住民に身近な行政は、地方公共団体が自主的かつ総合的に広く担うようにすること
- 地域住民が自らの判断と責任において地域の諸課題に取り組むことが出来るようにすること

## 後期基本計画（H23～27年度）

### 策定趣旨



- 自助：個人・家族の力でできることは、個人・家族で行う。
- 互助：隣近所で支えあってできることは、隣近所で助け合う。
- 共助：地域で力を合わせてできることは、地域で助け合う。
- 公助：個人・家庭、隣近所、地域で実現が困難なこと、行政が実施することが効率的なことは、積極的に支援する。

みんなで創ろう ゆとり いきいき ふれあい かすや

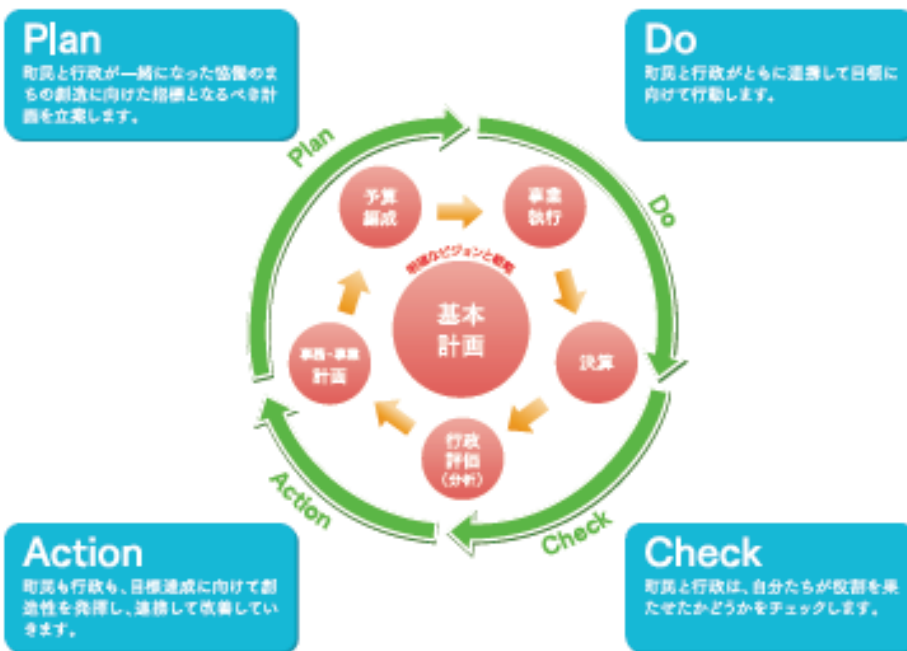
#### 〈行政の組織力強化〉

限られた予算で大きな成果を上げるためには資源（ヒト・モノ・カネ・時間・情報）を戦略的に活用する「経営力」と時代の変化に対応するための「行政運営」を強化する必要があります。

#### 〈町民の地域力強化〉

町民、企業、行政が役割分担と創意工夫により「協働」にてまちづくりを推進していくことが必要です。

### マネジメントサイクル



#### Plan

町民と行政が一緒になった協働のまちの創造に向けた目標となるべき計画を立案します。

#### Do

町民と行政がともに連携して目標に向けて行動します。

#### Action

町民も行政も、目標達成に向けて創造性を発揮し、連携して改善していきます。

#### Check

町民と行政は、自分たちが役割を果たせたかどうかをチェックします。

# 総合計画をめぐる動き

## ① 昭和44年の地方自治法改正により、市町村が基本構想を策定することが義務付け

旧地方自治法

第2条第4項 市町村が事務処理をするに当たっては議会の議決を経てその地域における総合的かつ計画的な行政の運営を図るための基本構想を定め、これに即して行うようにしなければならない。

## ② 平成23年の地方自治法改正により、基本構想の法的な策定義務がなくなる

平成23年5月2日「地方自治法の一部を改正する法律」が公布され、市町村の基本構想の法的な策定義務がなくなり、策定及び議会の議決を経るかどうかは市町村の独自の判断に委ねられることになった。

総合計画の役割が終えたということではなく、基本構想を含む総合計画全体において、地方自治体の自主性の尊重と創意工夫を期待する観点からの措置

各自治体において、総合計画のあり方（位置づけ、役割）を自ら設定

## ③ 粕屋町総合計画策定条例の制定

町民にまちづくりの展望を示し、行政運営の指針として活用

第5次総合計画の策定

# 第5次総合計画策定 町民参画

## まちづくりワールドカフェ（かすや未来カフェ）

平成26年9～10月（ワークショップ4回開催）

平成26年12月6日（シンポジウム開催）

まちの未来について、町民同士が語り合い、  
今後のまちづくりの参考とする



## 町民意識調査等

町民アンケート（20歳以上 3,000人対象）

中学生アンケート（粕屋町立中学3年生対象）

各種団体アンケート

## インターネット調査

～ワールドカフェとは～

カフェのようなリラックスした雰囲気の中で、少人数に分かれたテーブルで自由な対話を行い、他のテーブルとメンバーを入れ替えて対話を続けることにより、参加した全員の意見や知識を集めることができる話し合いの手法

## 総合計画ワークショップ

平成27年4～9月頃（町民20名程度＋職員20名程度）

町民と行政がともにまちづくりを進める仕組み  
についての意見交換（3～4回程度）

## パブリックコメント（意見募集）

総合計画案を公表し、町民からの意見を募集

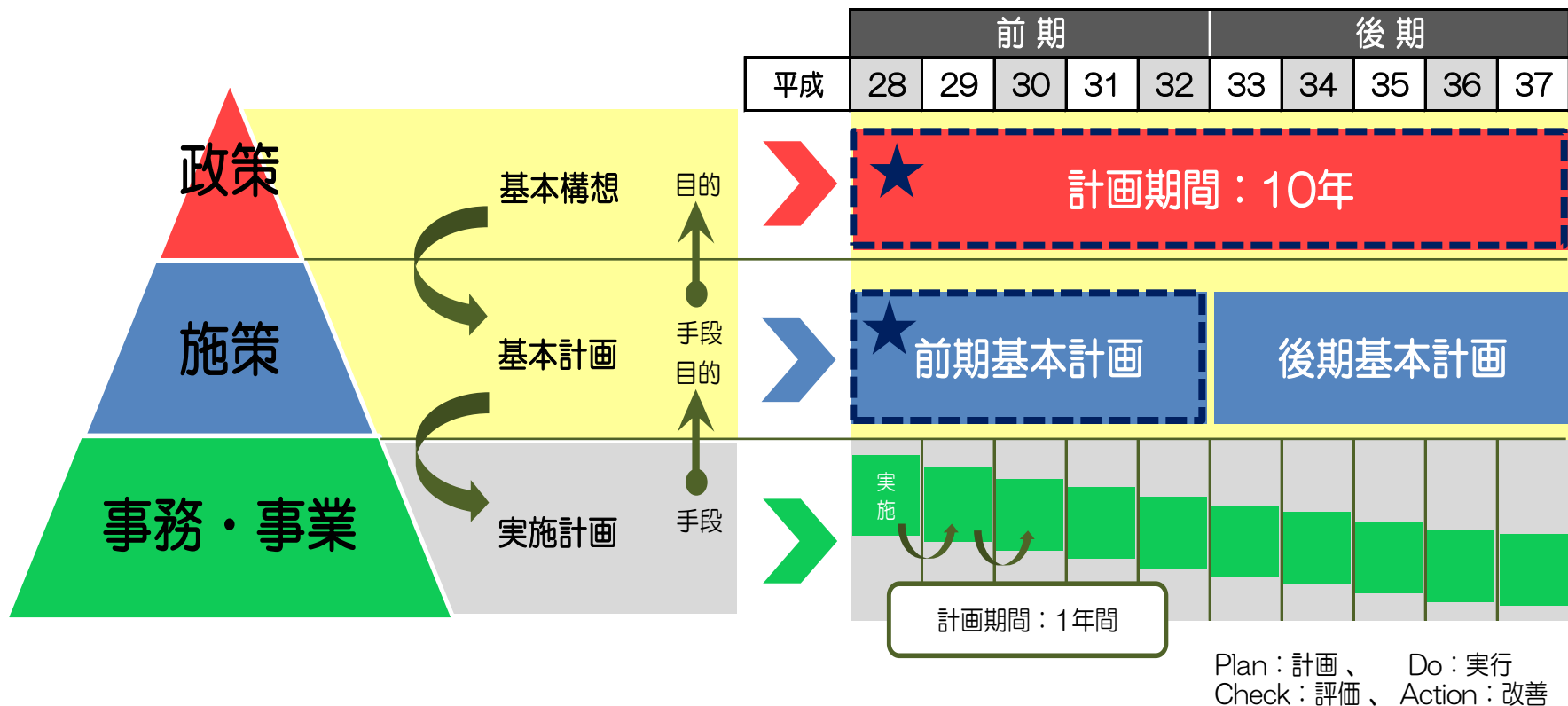
平成27年2月頃 基本構想案

平成27年9月頃 基本計画案



# 第5次総合計画の策定

計画期間 平成28年度～平成37年度（10年間）

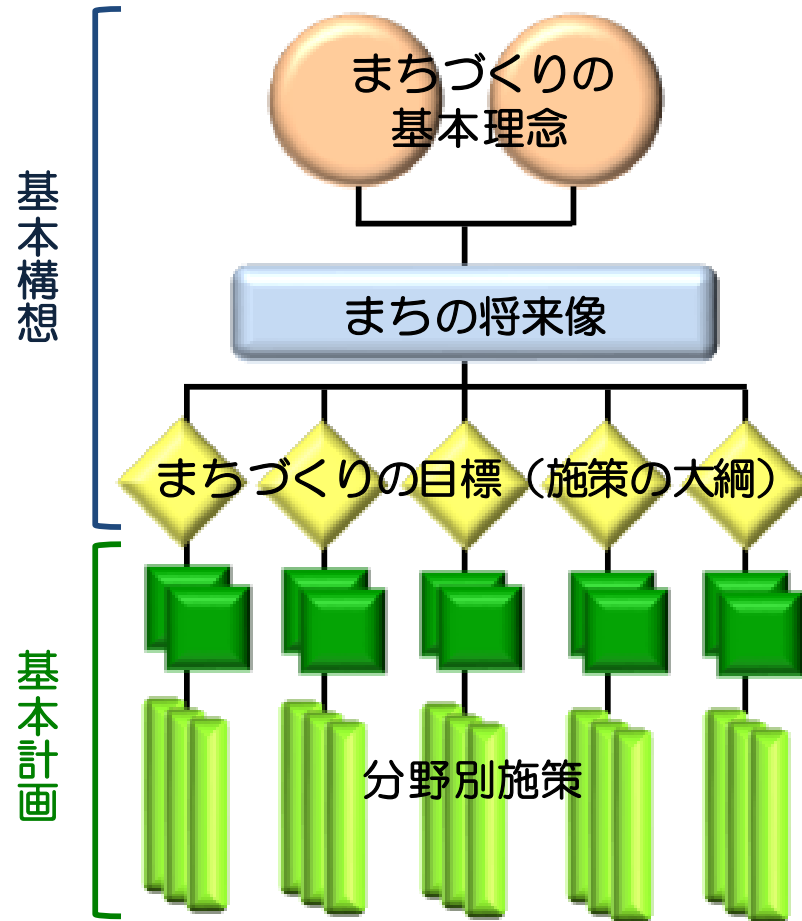
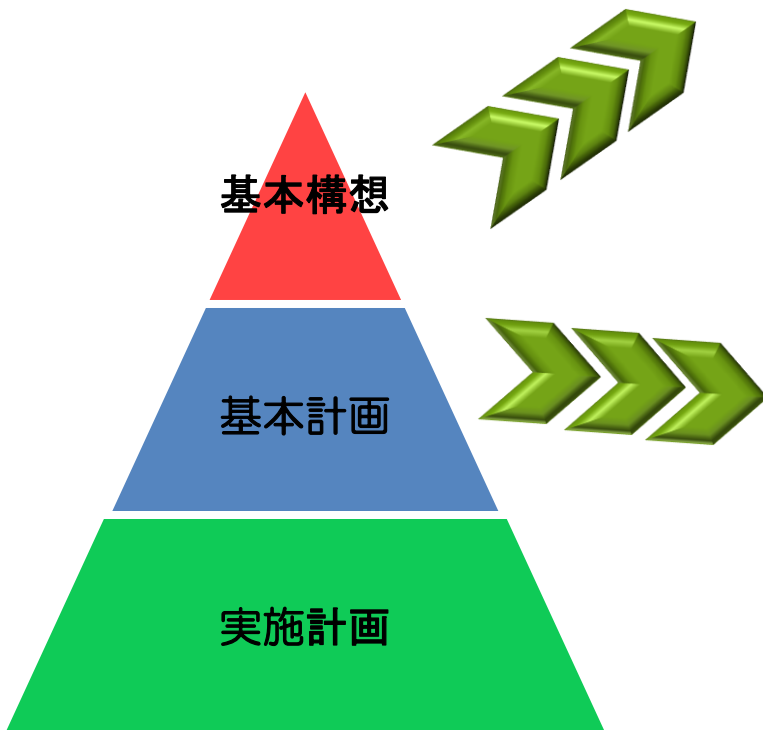


策定スケジュール	策定完了（予定）
基本構想	平成27年 6月
基本計画	平成27年12月

# 粕屋町の総合計画体系

## まちづくりの長期的な展望

基本理念と将来像を掲げ、  
まちづくりの目標（施策の大綱）  
に基づき、各分野の施策を推進する





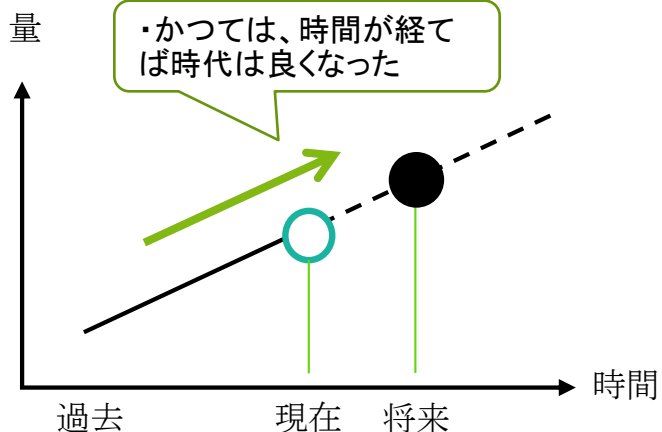
# これからの総合計画

「成長」を前提とする仕組みから、「持続型」の仕組みへの転換  
(限られた経営資源の中で、町民・地域のニーズに的確に対応)

## これまでの行政運営

(右肩上がり社会における行政運営)

事業をすることが目的(プロセス重視)

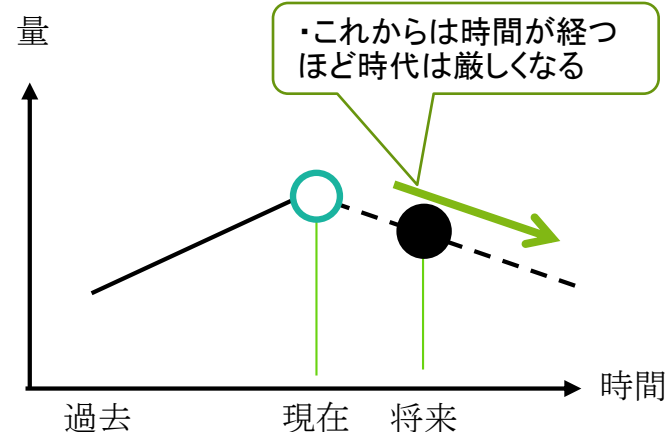


総花型の総合計画

## これからの行政運営

(右肩下がり社会における行政運営)

成果、効果が評価される(アウトカム重視)



地域経営計画型の総合計画

人々の価値観も、これまでの成長型社会で求められてきた経済的な満足度のみでなく、「心の豊かさ」も重視されるようになってきた

# 第5次総合計画 策定の視点

まちへの愛着や誇りを持ち、  
粕屋町に住んで良かった、住み続けたいと思うまち

②地域特性や強みを活かし、  
活力あるまちを創造する視点



①町民にもわかりやすい計画  
づくりと協働で取り組む視点

③成果を重視した戦略的な  
行政経営の視点